

租稅せり此三分公債は常に前五分利  
 公債二者の發行價格よりは高價を維  
 持し、千九百十三年二月には九十四  
 法、四月に八十七法五十參、十二月  
 居れども鑑定に日を經れば諸方に整  
 延の憂ひなきに非ざれば對支貿易に  
 累を及ぼすこと寡少ならざるべしと  
 (大阪)

一、貯蓄思想の涵養と其實行獎勵件  
二、漁閑期の利用に關する件  
三、積等の蓄積を利用し共同自助方法を講せしむるの件

を購入するとするも、學校組合議員には一部反對者もありて價額を四圓乃至一稱し居れりと云ふ

第七條 役員の任期は一箇年とす  
第八條 幹事は本會を統轄し其事務を執  
本會を代表す  
第九條 評議員は本會重要な事務を評議  
第一章 大會收受委員會

旗で百姓一揆も起し兼ねな  
ふ▲其れでも北京では帝政實行  
氣阿成に如かずと來年の二月の

大  
三

大日本國英學學者東京總領事館富士見町

滿洲五龍背溫

泉  
ルなり  
場なり  
漏あり





雪の朝今

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

故人岡村君と予とは明治廿年に知り合つて以來今日迄三十年近く僅か三年計り離れてたゞりてゾツと

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

故人岡村君と予とは明治廿年に知り合つて以來今日迄三十年近く僅か三年計り離れてたゞりてゾツと

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

故人岡村君と予とは明治廿年に知り合つて以來今日迄三十年近く僅か三年計り離れてたゞりてゾツと

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

故人岡村君と予とは明治廿年に知り合つて以來今日迄三十年近く僅か三年計り離れてたゞりてゾツと

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

故人岡村君と予とは明治廿年に知り合つて以來今日迄三十年近く僅か三年計り離れてたゞりてゾツと

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

### 母の爲に轉居す

片腕を失った感慨に耽りつゝ

### 袁大總統を訪れて

京城から北京まで嘔の旅行

三百圓を買つて歸つた朝鮮婦人

女の手を廻し

その女に

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

### 郵便所長の妻

發狂して投身

刑事巡査と稱

散々の悪事

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

四温に入つた

雪満街

### 實生流素詣會

十二月十日より、景品呈上

仙臺平袴地

セ、ル袴地

御子御紋附地

仙臺大町

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

藤崎吳服店

御用達

### 電球代金値下廣告

炭素電球約四割減

炭素電球約三割減

炭素電球約二割減

炭素電球約一割減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

炭素電球約二分減

炭素電球約一分減

炭素電球約五分減

### 半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

### 半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出

半額より賣出



# 滿鐵と滿洲大豆

國澤滿鐵副總裁談

滿洲鐵道株式會社副總裁國澤正三氏は、滿洲鐵道株式會社の大豆運送業務について、最近の状況と今後の展望を語った。大豆は滿洲の主要な農産物であり、滿洲鐵道は大豆の運送に重要な役割を果たしている。最近の大豆運送量は増加しており、これは滿洲の農業の発展を示している。今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 忠北永同の将来

忠北永同の将来について、國澤氏は、忠北永同は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。忠北永同は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 蒙匪南下

蒙匪南下の状況について、國澤氏は、蒙匪は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。蒙匪は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 平壤府税問題

平壤府税問題について、國澤氏は、平壤府税は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。平壤府税は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 忠州と黄色

忠州と黄色について、國澤氏は、忠州は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。忠州は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 全南道より

全南道よりについて、國澤氏は、全南道は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。全南道は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 連綿船上陸客

連綿船上陸客について、國澤氏は、連綿船は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。連綿船は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

## 石油と其後の

石油と其後のについて、國澤氏は、石油は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。石油は、大豆の運送業務に力を入れており、今後の展望としては、大豆の運送量をさらに増加させ、満洲の農業をさらに発展させることである。

# 商況

東京株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

大阪株式特電

東大株式特電

# 演藝案内

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

黄金館

浪花館

大正館

# 子宮病の道

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

# 子宮病の道

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

# 子宮病の道

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

# 子宮病の道

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是

迷彼是



第六十八席

# 軍議の決定

翌年五月、大阪落城の時は、  
 豊前の一戦、宰相忠

此とき紀州・尾張・讃岐・互に顔見合せて居つしやる。家斯りや、天海左の兩名が、此の如く申されるに依り、早々人敗を繰出し、越前・福井を取返し、七十五萬石を取り上げよ。天・アイヤ將軍家、暫らく御控へ下され度……方々、この天海の申し上げること、宜しく御聽きの上、御支配下されたく、恐れながら此度將軍家の御勢を以て、福井城へ御軍勢を差向けることあらば、如何なる寵きの御決心も、何條保つことのあるべき。忍む一戰の下に敗れ、家名改易無難の御仁心を通じまするで御生る、



將「天海」差左の意見、予が心算に  
 徹したり、兩人の功に免じ、越前の  
 罪は差有す、今予が思ふ仔細を認め、  
 遣はすであらう」料紙、硯を差上り、  
 將軍を自署する御判り遊ばし、越前  
 後國、越前郡高田城二四十萬石、仙千  
 代丸へ遣はす、外に二萬石、化粧料  
 として、勝越へ遣はす」と御認めに  
 かり、之を御密に敕せ、天海、差左  
 門に下さる、兩人推戴す「是にて德  
 川家代不易、天下の御武  
 勇、御仁德を以て、天下に馳せま  
 給ふ、四海何者が歸服せざる者が  
 坐いませう、アラ有難き將軍家の御  
 寛大」と喜びましたが、此のとき天  
 海、僧正は差左衛門に向ひ「天、差左  
 衛門ハツ天斯様御書を賜はつたに  
 上は、御差公使の役として、兩人で  
 井城へ御上りの役目を戴き、御同  
 では御坐られぬか、差、如何にも  
 仕る、久々にてア仙千代丸様  
 云々和子様勝越君にも御目に掛るで  
 御坐ろう、天、御會ひ申すであらう。

年末の贈答品には  
實用向きの  
あね銘仙  
京都町ちふや  
二丁目  
珍柄豊富

電話八九〇番

十二月十一日 九星

舊十一月五日 丙子

本命 四條 雷 礎 先 貢

[illegible]

陰養病並に神經衰弱に大  
効あり

米國ビクター會社製  
トランプ  
獸類捕獲器  
壹圓五十錢  
壹個

仁川濱町  
京日  
代理  
部



又クデ  
取器械  
狸  
狸

學理と

信用と

實行

此の三標準か

ら嚴格げんかくに觀みて

現今數ある諸

種しゆの婦人ふじん藥中やくちゆう

中將湯

右に出づる良薬なことは

絶対動かず事の出来ぬ  
社會萬人の與へた決定

故に弱き御婦人、病める御婦人

お惑ひなく

安心して中將湯召上れ



鋪 本

東京日本橋通四丁目 電話口屋六八番  
津村順天堂本店  
電話本局二二二六六三番  
大阪市大藏寺町堺筋 投掛口陸四六番  
津村順天堂支店  
電話本局二二五五番  
中將湯は世界到處の藥店にあり

[illegible]



刊朝日十  
(號八十六百九千二第)

發行所 東京 城下 報社  
 電話 三三六六  
 郵政 掛號 第三三六六  
 代印 各種 印刷 物  
 代印 各種 印刷 物  
 代印 各種 印刷 物

支那革命黨及び大總統に平かなる者、竊かに内亂を企てるや久れ、只其金力乏しく武力亦之れ無き爲めに躊躇し居たれども、此度袁大總統に際し、政權を進行するの爲に、袁大總統が何等の爲に爲されは遂に復た爲すべからざるに至るべし、是れ最近に至りて其企畫甚だ急なるを傳ふる所にして、近電頻々上海暴動の消息を報するは、則ち其の勃發せるものと外ならず。

支那の前途は今遽かに斷じ難し尤も此度上海の勃發したる暴動にして容易に鎮滅せむか、革命派若くは不平黨の行動は此に終るものと見て可なり、暴動叛亂を人體の腸肺に譬ふれば、其の内臓に發生したるものは治し難しと雖も、手足皮膚等に外部に露出する處に發生せるものは、切開抉去せば容易なり、支那の暴動が先づ上海に起りたることは、甚だ人を憂かすべしと雖も、其の起るのみならず取て以て我が滿蒙鐵

策和論  
 業煙草仲買機關設立の急務  
 を論ず  
 廣江澤次郎  
 朝鮮に於ける製造煙草が長大足の進  
 歩をなし、遂に英米トラストを驅逐し  
 今や益々他給本領を侵奪せんとす  
 るに當り吾人は其使命が重且大なる  
 と共に各方面に十分の用意を經べざ

使買機關の不備より頗る不安定の地位に有り、或る時は『生産過剰』の弊説に陥落され不運を喫する事なきにしも非ず。孔子は『存亡禍福は嘗已に有り』と訓へたり。吾人は常に途を諒じ、法を求めて禍を避け福を招かざる可らず。

**朝鮮の葉貴産物** ハナキミ

議論の先ず聊か朝鮮に於ける葉貴産物の數を見之るに、刺藪と應運とに關する資料は支那の葉貴草主

京日詩壇

○訪松田聖國於議政府途中

永井 烏石

大門前之少時吟朋有約不違期  
携去茶何物欲奉先生滿腹詩  
奔列走日無餐應務多過醉又醒  
觀吾苦語問龍山北訪詩星

評曰 雅潔大妙 殊見謙謝

○同上次韻

成田 磐石

覆轡輪約時帶將齋食不違期  
錦綸迎露客生龍引香半促詩

威なきを得ざるなり。近視暴徒俄國、局に據り且軍艦をも獲得し其野望を張れるを憐れ、其行動の迅速人の耳目を奪ふものありと雖も、上海は支那のありては特殊地域にして、列強の利害關係甚だ重大なる處にて國際上之を見て永久中立地と等しきものなし、列國相成りて以上海を更に仔細に吟味すれば我邦に啗へらるゝ支那論の骨子は實に東洋人を爲すの東洋と云ふ點に歸著する露は當て浦洲に躍躍せんとせり之れ東洋人の東洋たるに害あり故に日本は憤を發して之を撲へり獅の商品に於る亦同様に日本は起て東洋の爲め根柢

て支那の爲の支那を忘却せる諸者よ  
變ひ勢力範圍の套説に據りて以て  
己の點論を支持せざるべからざる  
困るならん而して之れ亦吾等が異  
なき能はざる所なり

## 東蒙の赤峰

●東蒙なる場所の要重

存亡禍福己に在り

斯は寺内總管が印綬を佩びて渡鮮の時、當時の迷亂と聞く、春風秋雨、遂に六星霜、總管の熱誠と勤勉努力の結果、

▲山河 市外には市の西方より北方を繞り流る、金英河ありて水量常に

右は總督府に於て先年精査せし所謂  
標鑑統計にして其後の増産と此外に  
本年は忠州の米國種黃、色、莖煙草八  
萬八千莖及び南嶺の日本種黃、無人  
作を合して十五萬貫、又試作に過ぎ  
迎てて需要する日用品なり、然るに  
亦附近に小麥を産すること豫期以

○同上次韻 古城 梅溪

の安全を保つといふことは、今は國  
際上の定規となり居れり。故に若し  
暴徒にして此に猖獗を極めむか、北  
京政府の力を以て之を鎮撫する能は  
ざることは、列強之間し其秩序回  
復を図るは當然の順序にして、暴徒  
を取りては甚だ窮屈千萬なる處にて

地を獲へりとの此の如き論法を以て  
世上多くの論者は日本の義徳を誦唱  
し支那が之に對して感謝せざるを見  
て罵つて怠慢となす然れども思ふに  
その眼よりして觀れば東洋人の爲の  
東洋より支那人の爲の支那と云ふ  
先決問題にあらずや既に支那人の爲

に獨占すべし

支那人の素志は日本に對しては種々  
異なるが點に在り、第一土地としは極め  
たがいはないが、第二は海軍の發達を  
望み、第三は朝鮮半島の領有を欲する  
第四は俄かに托松江省長官が士官會で  
所屬の各所に對して國の榮光とするに足る

地理的狀況

◎此地、亦即ち北京と距離東北八

豐富なり又市の附近は佃作の野にして  
 土丘點在し只金山の突元として市  
 の東北に横はり又佃制緩漫なる戦場  
 山の南方に聳えて自ら市の景観を添  
 ふるあるなり

▲官公衙 市内には鎮守使衙門 縣  
 衙門、警察署、審判分局、商務會、  
 農會、兵營、小學校二、西翁牛特

上に多量にして縣内のみにても一個當  
に我が十四五萬石を産し、尙ほ  
増加の趨勢を示すものあり、且  
市内に百有餘戸の小規模的製粉屋  
あるに徴しても斯業の有望なるを察  
知するに足らんか、斯業實際家の注  
意を促がす次第也

上皇賜詩  
 詔曰 過褒不當 巧趣可欽  
 ○祝即位大典 齋肅 三頁  
 朝大典 旛宴開 億兆歌頌 渥恩  
 六峰雲霽 紫氣風佳 氣清乾坤  
 屋門頭揭加旌 瑞燵祥露望中收 德  
 遠南簾 恭奉千秋萬歲 詩  
 詔曰 前首莊肅 後首儉朴 立言得

[illegible]

地稅局等の官公衙あり  
想ふに我が東洋經營上頗事節を設け  
するに最も早きを要するものありと  
せば赤峠は必ず其の一たらざる可ら  
ず鐵道の開通最も早きを要するもの  
のありとせば赤峠は必ず其目的地の  
にたらざる可らず

▲製造業 牛皮、馬皮、其他の雜皮の赤紫に集まり來るもの甚だ多なり、精密なる計數を示すに苦しむるも、支那政府調査の結果によれば、縣内に一箇年に産する皮革類は馬皮一萬二千四百七十四枚、牛皮五萬八日五十三枚、雜皮三十三萬九千九百

○石坡亭觀楓 成田 魯石  
光北門路。曳杖石坡亭。楓飄蜀江錦。  
曉渡殿鈴。三溪流淨環。一字紅臨厩。  
有當年趣。風霜幾度經。

評曰 一氣直下。卷舒自在。

日 報 歌 壇

枯野 春川 篠原 均藏

を進行しつゝあり人民代表者各投票を爲さしめ、文武官亦相率ひて意政を促すのみならず、近衛清皇太子、大正總統に向つて、近衛勳進奏を致すべしと云ふ、蓋し皇等降臨の期方、支那に在るに在るよりも寧ろ日支の反目にあるにあらずや支那をして能く自立し其自立する事に依りて

△市街 市街は寛平年造にして面積四十方支里を有し（東門入支里、北五支里、一支里に我六町なり、西は比較的大きな、東部の市街は二條あり、最長の市街に依れば人口四萬五千、數四千二百ありと云ふ）

赤峯附近の石炭

赤峯市を東に距る七十支里（我十二里郷）にして東元寶山あり、又百支里にして西元寶山あり、孰れも品質良好なる石炭を産出す（市内及び近在の燃料は概ね之に依るものにして目下百斤に付き我四十鎰の相場位

十九校(雜皮中)には羊皮最多し(而して市内に小規模の製革屋多けれども彼等と競争し得るの見込み立ち難きに非ず)

●羊毛業 赤松市は羊毛・羊絨の集散地なり(穀類に調査したる最近の計數を示せば左の如し)

羊毛(一箇年)に當市に集まり來る

室の戸に生きむとすらむ  
 我が心期きかくてなほ諸りの世  
 獨り多の日を睡る  
 枯野に立てり  
 思ひに住める我はも  
 烈女は枯野にたてり  
 吹きて寒月浮ゆる  
 青年に意志強かれと誨へつゝ  
 身を省るかな

る政治上一大事を決して多少抵抗東洋の平和を確保し之に依つて以て  
を見るなき能はざるは、北京政府も日本並びに世界に權利を齎すが即  
僅かに償得せるどころな論も日本の理想なりとせば思ふに問題  
其の最も武人を懐くに方々は唯如何にして支那を固からしめん  
と云ふに歸せざるべからず吾等は此  
此の邊の要害に出づべし、從つて  
二部の叛亂者ありと、之を帝京  
點に於て又日本の用意果して如何をするに足らむ

▲商業 長成以北にありて香港に至る間は、鐵道三十八里とす、然るに  
する最も多き終業は燒碱、酒造業、紙、糖、鹽、蠶絲、茶、羊毛、蠟、豆、油、

るなり）其の他開掘中のもの五六箇  
所あり、斯く石炭に豊富なるの事實  
は將來或種の工業を當市に起すに一  
大刺激を與ふるものと謂ふべし

**試みてべき企業**

製粉業 小麦粉は支那人の上下を

もの約五百萬斤)  
羊絨(同上)二百五十萬斤  
山羊絨(同上)二百萬斤餘  
此等の毛類を買取り其品質によりて  
擇り別け汚物を洗除し日本需要者の  
希望に添ふ様整理せば是亦有利の事  
來たるを得むか

朝な夕ぐれに、何處へ行きし  
 は來らず何處へ行きし  
 いなばな神のドラマの子となりて  
 斯くて果つべき我世なるかも  
 山鹿旅中

[illegible]

<p><b>開始。</b>繁華繁盛合用是特異品最新 136 便利且其科座底に御相識仕候 者草町二七六俵 ●葬儀舍</p>	<p>東京大阪京都旭町一千二百入口 126 <b>ハキモノ 勉強屋</b></p>	<p>●開業 秘密を確守し大焼通 132 ●仙傳通知 難波に請品買受申候 新黄金町三 藤本古物店</p>	<p>●古着土道具類 133 石は相當價格を以て誠實に買受候 電話ハニクヅ谷商店</p>	<p>●質 135 ●洋品 82 ●製選販賣 古賀商店</p>	<p>●梅毒 138 ●肺結核 138 ●皮膚病 須古醫院</p>	<p>●質 138 ●仙傳通知 難波に請品買受申候 新黄金町三 藤本古物店</p>	<p>●古着土道具類 133 石は相當價格を以て誠實に買受候 電話ハニクヅ谷商店</p>	<p>●質 135 ●洋品 82 ●製選販賣 古賀商店</p>	<p>●梅毒 138 ●肺結核 138 ●皮膚病 須古醫院</p>
--	---	--	--	---	---	---	--	---	---

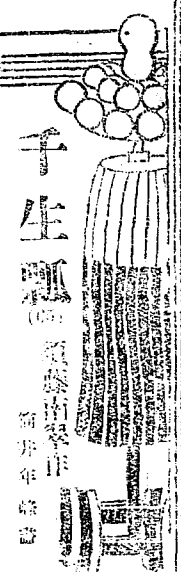












千生... (Text columns related to the illustration, likely a story or commentary.)



... (Text columns related to the illustration, likely a story or commentary.)

... (Large block of text, likely a news article or editorial.)

# 景品大賣出し

## ミツワ石鹼

純正の石鹼は重質保元にて透明に溶解し、洗滌力に富み、故に混濁する事なく、混合物をなすに於て些の汚濁をも残留せず、更にフエノールフタレインを以て、仔細に選別したる重質保元を以て、石鹼を呈する事なき、是を化学上の純石鹼なりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗雑なる本邦人の皮膚、乃漆黒を貴ぶ毛髪、洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、暗に化学上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

化学上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性質を具備す。

- 一、原料を精選し、脂肪に香料に、荷も刺激を感ずべき虞あるものを用ひず。
- 一、温雅の芳香を有す。
- 一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて中途に溶け崩るゝ、如き憂ひなし。

即ち一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹼なり。

賣捌 全國到處の小間物店、化粧品店、洋酒食料品店

本舗 ミツワ石鹼 發賣元

ミツワ家庭薬 御園化粧品

東京市日本橋區橋町四丁目 丸見屋商店

電話 略 〇ミヤ 振替口座東京七二〇番

營業部電話特長花三〇四四八・四四九・四五〇番

... (Small text at the bottom of the page, likely publication details or contact information.)